

令和6年8月8日

県民の皆様へ

愛媛県知事 中村 時広

日向灘を震源とする地震に伴う県内の状況及び南海トラフ地震
臨時情報（巨大地震注意）への対応に係るお願いについて

本日16時43分頃に発生した日向灘を震源とする地震に伴い、19時15分に気象庁から南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。これは、南海トラフ沿いの大規模地震発生の可能性が平常時に比べて相対的に高まったことを示し、大規模地震への備えを呼びかける情報です。

ただし、臨時情報は、大規模地震の確実な発生を予知するものではなく、不確実性をはらんだ情報です。地震がいつ、どれくらいの規模で発生するかは誰にも分かりません。このまま大きな地震が発生することなく収束する可能性もあります。

これを踏まえ、県民の皆様に2つお願い申し上げます。

(1) それぞれの状況に応じた地震への備えを実施すること

大規模地震の発生に備えて、それぞれの状況に応じた必要な備えを実施してください。少なくとも、以下の事項を確認してください。

- ①避難場所及び避難経路
- ②家族との安否確認手段
- ③非常用持出品や家庭における備蓄
- ④家具の転倒防止など住宅における安全対策

(2) 冷静な行動を心がけ、可能な限り日常生活を継続すること

決してパニックに陥ることなく、冷静に日常生活を送ってください。以下の行動は大変な混乱を招きますので絶対にお止めください。

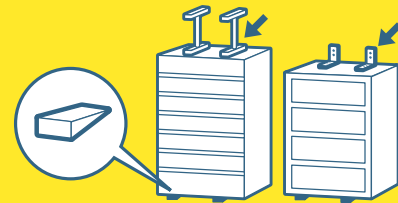
- ①食料品や生活必需品などの買い占め
- ②SNS等における悪質なデマや根拠のない噂などの拡散

県では、関係機関と連携し、非常事態に即応できる体制を整えてまいりますので、県民の皆様におかれましては、地震への心構えを高めつつ、冷静に行動していただきますようお願いいたします。

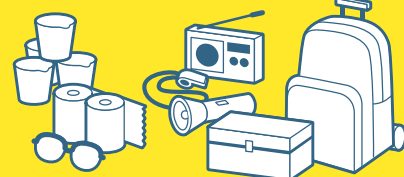


地震の発生に備えよう

家具の固定



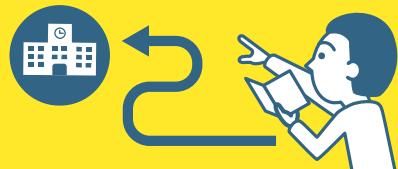
非常用持ち出し袋の準備



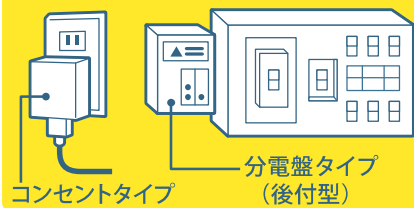
水や食料の備蓄



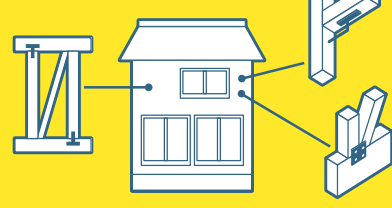
避難場所や避難経路の確認



感震ブレーカーの設置



建物の耐震化



自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう

(発表条件)

南海トラフ地震臨時情報

- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

キーワード

調査中

- 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合

巨大地震警戒

- 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合

巨大地震注意

- 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合
- 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合
- ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合

調査終了

- 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

南海トラフ地震関連解説情報

- 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合
- 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）



内閣府 参事官(調査・企画担当)

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1 中央合同庁舎8号館
電話：03-5253-2111 (大代表) FAX：03-3501-6820
内閣府ホームページ <http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/>

お問い合わせ先



気象庁地震火山部地震予知情報課

〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号
電話：03-3212-8341 (代表) FAX：03-6689-2917 (耳の不自由な方向け)
気象庁ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/index.html>

発行日 令和元年6月

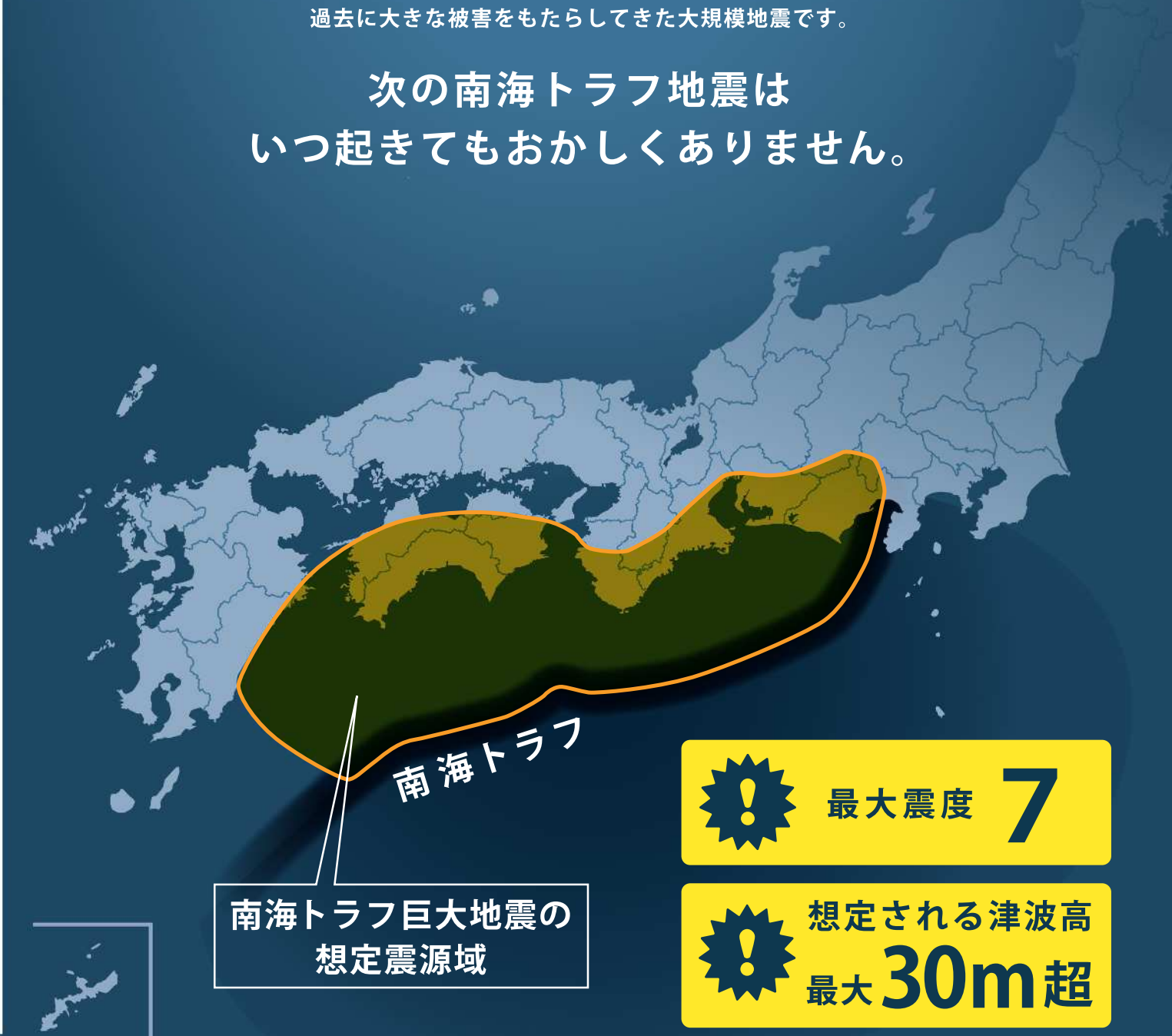
南海トラフ地震

— その時の備え —

知ることであなたと大切な人の命を守る

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。

次の南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくありません。



南海トラフ

南海トラフ巨大地震の想定震源域

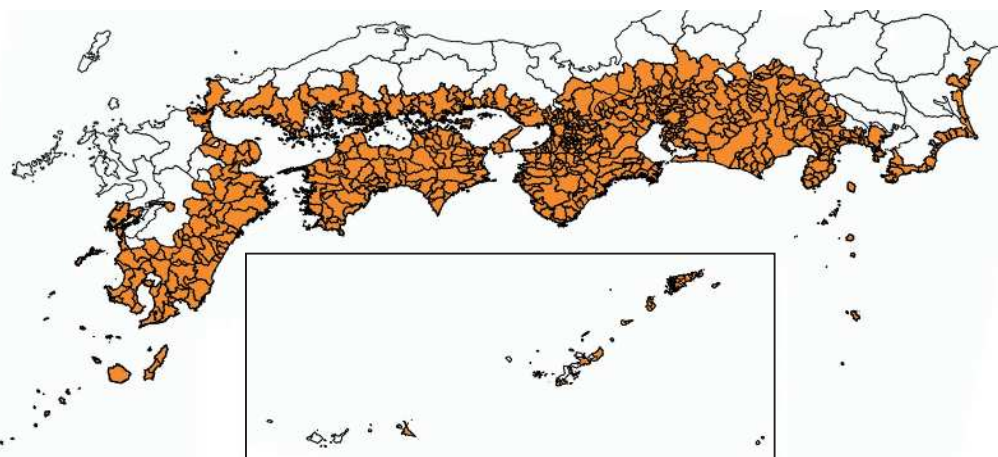
最大震度 **7**

想定される津波高 **最大30m超**

南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があります。大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。

南海トラフ地震で大きな被害が見込まれる地域

南海トラフ地震
防災対策推進地域



指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮

南海トラフ地震が発生したら・・・

地震発生 揺れを感じたらまず身を守る行動を

突然の揺れ

家庭で

頭を保護して机の下など頑丈な場所に隠れる

屋外で

ブロック塀や電柱、自動販売機など、倒れる危険のある場所から離れる

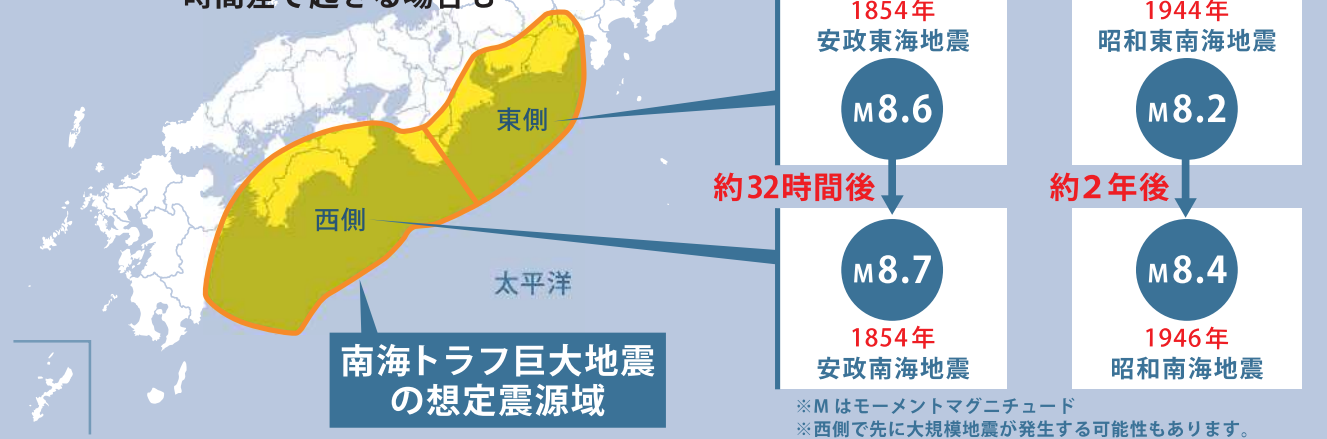
沿岸部で

津波の発生・襲来に備えて、安全な場所に避難する

地震は一度では終わらないかも

～時間差で起きる場合も～

〔過去事例〕



時間差で発生する巨大地震に備えましょう
～南海トラフ地震臨時情報～

- ・南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- ・政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

地震発生後の防災対応の流れ

